

## 渡良瀬遊水地へのアクセス



### 渡良瀬遊水地・谷中湖周辺の利用

期 間	利 用 時 間	利 用 で き な い 日
3/1 ~ 10/31	9時30分 ~ 17時	毎週月曜日及び年末年始 (12/29~1/3)
11/1 ~ 11/30	9時30分 ~ 16時30分	※月曜日が休日の場合は翌日、月・火曜日と休日の場合はその翌日が利用できません。
12/1 ~ 2/末日	9時30分 ~ 16時	※洪水の前後も利用できない場合があります。

### レンタサイクルネットワーク

① 谷中湖サイクルレンタルセンター	
② 北川渡レンタサイクルセンター (道の駅きたかわべ)	
③ 板倉町レンタサイクルセンター (わたらせ自然館)	
④ 新木市渡良瀬サイクルセンター (湿地資料館)	
⑤ 古河市駅前子育てひろば	
⑥ 野木町 きらり館 (JR宇都宮線「古河駅」下車)	

① ~ ④ 月曜・火曜及び年末年始  
⑤ 月曜・火曜・祝祭日及び年末年始  
⑥ 月曜・火曜・祝祭日及び年末年始

【問い合わせ】 ● (一財) 渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 Tel. 0282-62-1161 / Fax 0282-62-1165 / HP <http://watarase.or.jp>

● 渡良瀬遊水地湿地資料館 (湿地資料館) Tel. 0282-62-5558 / Fax 0282-62-1165

### 渡良瀬遊水地の自然と成り立ち

#### 自 然

渡良瀬遊水地は、栃木・茨城・埼玉の4県にわたる面積3,300haの広大な面積を有し、洪水調節、都市用水の補給などを目的に設置されています。

渡良瀬遊水地は緑豊かな広大なヨシ原が特徴で、貴重な動植物が数多く確認されています。これは、遊水地の機能を保持するために、ヨシ原や沼を自然に近い形で残してきたことによるものであり、かつ、低地における広大な自然環境が保全されている渡良瀬遊水地は、まさに「自然の博物館」と言えます。

現在の渡良瀬遊水地の周辺（旧谷中村、現在の板木郡木下町藤岡町等）一帯は、渡良瀬川、巴波川、思川という3つの河川に囲まれており、人々は洪水に見舞われやすい地域を堤防で囲み、その中で生活を営んでいました。その後、上流の足尾銅山からの鉛毒の影響により森林が失われたこともあり、渡良瀬川沿岸の多くの村々では、明治23年、29年と大洪水に襲われました。

このような諸状況から沿岸に住む人々は鉛毒反対運動を繰り広げ、政治家・田中正造の活動もあり、足尾鉛毒問題は社会問題化しました。

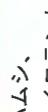
その後、渡良瀬遊水地は、旧谷中村民の移住問題等、人々の大きな犠牲のもとに作られました。

#### 四季折々の自然が楽しめます

##### 【野 鳥】



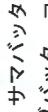
##### 【昆 虫】



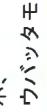
##### 【植 物】



##### 【水 生 物】



##### 【歴 史】



##### 【文 化】



※「渡良瀬遊水地の植物図鑑」参照  
※「渡良瀬遊水地の野鳥図鑑」参照  
※「渡良瀬遊水地の昆蟲図鑑」参照  
※「渡良瀬遊水地の魚類図鑑」参照  
※「渡良瀬遊水地の歴史」参照  
※「渡良瀬遊水地の文化」参照

## 渡良瀬遊水地ガイドマップ ラムサール条約登録地

